

令和2年度10月～12月期 美濃加茂市内企業 業況調査の結果について

調査項目(自社業況・売上高・採算・仕入単価・従業員・資金繰り)

2021年1月に会員60事業所について業況調査を実施し、60事業所から回答を得ました。(回答率100%)
ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後も年4回実施していきますので、ご協力
頂きますようよろしくお願いいたします。

【表1】2020年10月～12月期の動向】

業況DI

業況	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	▲ 50.0	▲ 60.0
運輸・自動車	▲ 20.0	▲ 60.0
観光・飲食	▲ 90.0	▲ 80.0
建設	▲ 20.0	▲ 40.0
工業	0.0	▲ 20.0
商業	▲ 70.0	▲ 70.0
全体	▲ 41.7	▲ 55.0

仕入単価DI

仕入単価	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	▲ 10.0	0.0
運輸・自動車	▲ 40.0	▲ 40.0
観光・飲食	▲ 30.0	▲ 30.0
建設	▲ 20.0	▲ 20.0
工業	▲ 10.0	▲ 20.0
商業	▲ 30.0	▲ 20.0
全体	▲ 23.3	▲ 21.7

売上DI

売上	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	▲ 50.0	▲ 60.0
運輸・自動車	▲ 20.0	▲ 60.0
観光・飲食	▲ 90.0	▲ 80.0
建設	▲ 30.0	▲ 50.0
工業	▲ 10.0	▲ 20.0
商業	▲ 60.0	▲ 70.0
全体	▲ 43.3	▲ 56.7

従業員DI

従業員	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	0.0	0.0
運輸・自動車	0.0	0.0
観光・飲食	▲ 10.0	▲ 30.0
建設	30.0	20.0
工業	0.0	10.0
商業	10.0	▲ 20.0
全体	5.0	▲ 3.3

採算DI

採算	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	▲ 40.0	▲ 60.0
運輸・自動車	▲ 20.0	▲ 60.0
観光・飲食	▲ 90.0	▲ 80.0
建設	▲ 20.0	▲ 30.0
工業	▲ 20.0	▲ 30.0
商業	▲ 60.0	▲ 60.0
全体	▲ 41.7	▲ 53.3

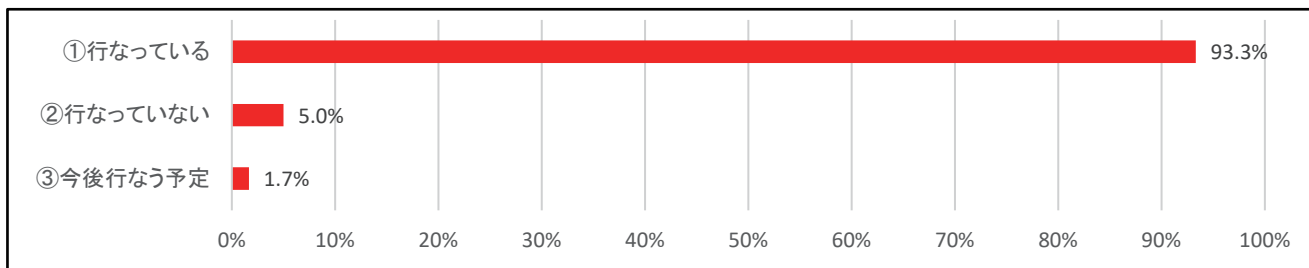
資金繰りDI

資金繰り	今期 2020年10月～12月	先行き 2021年1月～3月
サービス	10.0	▲ 20.0
運輸・自動車	0.0	▲ 10.0
観光・飲食	▲ 60.0	▲ 60.0
建設	0.0	▲ 10.0
工業	▲ 40.0	▲ 50.0
商業	▲ 10.0	▲ 10.0
全体	▲ 16.7	▲ 26.7

※DI(景気判断指数)とは、業況・売上高・採算・仕入単価・従業員・資金繰りの項目についての判断の基準を表すもの。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

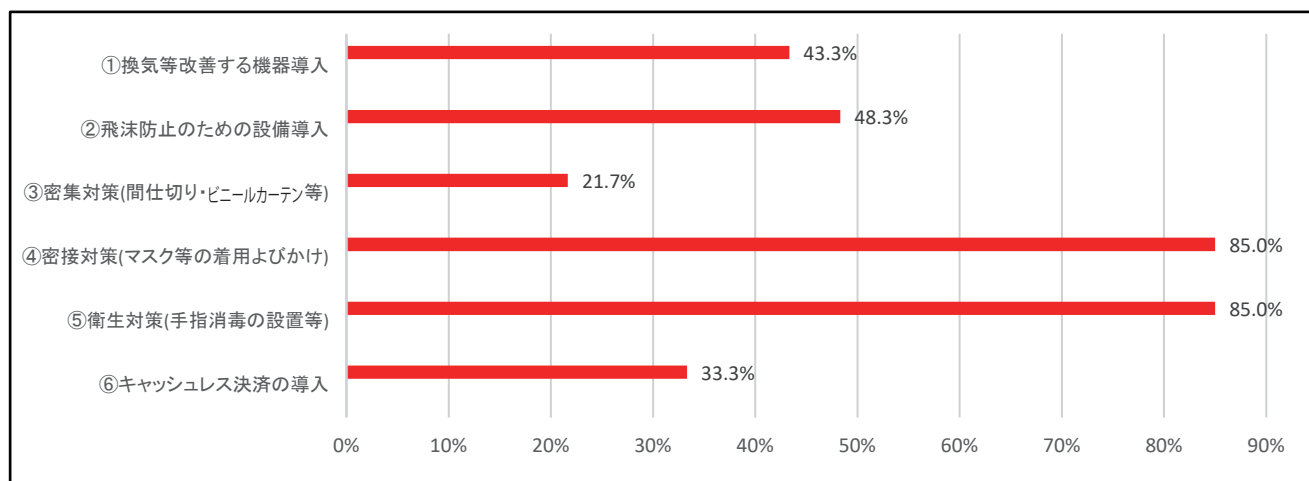
【表2】貴事業所独自の感染予防対策について

新型コロナウイルス感染予防対策をおこなっているかの問いに、「①行なっている」が(93.3%)「②行っていない」(5%)、「③今後行なう予定」(6.7%)とほとんどの事業所が対策している結果となった。



【表3】新型コロナウイルスの具体的な対策について

新型コロナウイルスの感染予防対策について問2で「①行なっている」「③今後行なう予定」と回答された方に伺ったところ、「密接対策」と「衛生対策」(85.0%)が最も高く、次に、「飛沫防止のための設備導入」(48.3%)、「換気等改善する機器導入」(43.3%)と続く結果となった。その他、「オゾン発生器を利用した除菌対策を行なっている」「全従業員に1日3回以上うがいさせている」といった予防策を行なっている事業所もあった。



【調査結果】

業況・売上・採算をみると全ての業種で落ち込みがみられましたが、前回の調査と比較すると工業については若干回復の兆しがみられる。企業からは、「感染予防のため顧客との会話に制限が出ている」「現場に入ることができなくなり、細かい打合せができない」「取引先から、ほぼ注文が無いとの声がある」「今後の予定受注が減少している」との意見があった。特に、観光・飲食業と商業の10月～12月期は低調な動きが続いている。

仕入価格は前回の調査と比較すると価格が上昇傾向であると回答している事業所が多い結果となった。従業員については、前回の調査と比較すると回復傾向ではあるが、特に観光・飲食業については過剰と回答している企業が多く、「今後を見据えて仕入・経費の見直しをしたい」との声もあった。

資金繰りについては、全業種にわたり「悪化している」と回答している企業が多い。

今回は、**コロナウイルスの予防対策**について調査を行なった。【表2】によると「行っている」が93.3%とほとんどの企業が対策されていました。【表3】コロナウイルス感染予防の具体的な対策について伺ったところ、「密接対策(マスク等の着用呼びかけ)」(85%)・「衛生対策(手指消毒)」(85%)、飛沫防止のための設備導入(48.3%)と続いた。

2020年10月～12月期は「観光・飲食業」や「商業」が特にコロナウイルスによる影響を受けている。コロナ社会を見据えて、貴事業所独自の対策や事業活動の影響について伺ったところ、「自社動画を作成しPRしていく」「BtoBの販路だけでなくBtoCや輸出を意識した商品の販路開拓をおこなっている」「変化に気づき、新しい販売体制へ移行を加速させる」「社内及び工場の体制変更に着手する」「来訪者用に入口付近に商談スペースを設けている」「ネット販売の仕組みを作っている」「緊急事態宣言により外出自粛中ではあるが”みのかも応援チケット”に期待している」「消費者向けに自社サービスをアピールする」などの声があり、コロナ対策を行ない積極的に事業活動を行なっている企業が多く見受けられた。